

◆ “ふるさとちば”のための政策推進を◆



山本よしかず県議会リポート

発行／自由民主党千葉県議会議員会

〒260-0855 千葉市中央区市場町2番13号 電話 043 (227) 7411

山本議員 新型コロナウイルス感染拡大は、我々の生活全般にわたり大きな影響を及ぼしているが、特に高齢者や基礎疾患のある方への影響についてだ。ご家族は、高齢のご家族が

感染していないことを確認したいという切実な思いもあると聞いています。

そこでうかがうが、新型コロナウイルス感染症の重症化リスクが高い高齢者等への検査の充実に向けた県内の取り組み状況はどうか。

健康福祉部長 県では、高齢者を含め発熱等の症状があるなど感染が疑われる方に対し、積極的に行政検査を実施しているところです。これに加えて、市町村において、高齢者や基礎疾患有する方に対しても、本人

12月定例県議会一般質問

「誠心誠意」の4文字を心に刻み、千葉県、そして八街市の発展にまい進している山本義一県議（4期、八街市選出）は12月県議会で一般質問を行いました。今回の一般質問では農業問題に重点を置き、農業所得の向上、北総中央用水土地改良事業、森林整備などについて、森田知事ら県執行部に施策や方針を聞きました。このほか、新型コロナ感染検査について質問し、重症化リスクが高い高齢者の検査に県の支援を要望しました。山本県議の質問と県執行部の答弁を特集します。

千葉県への移住促進 豊かな自然など活用し

新型コロナウイルス



登壇し、一般質問を行う山本義一県議

高齢者の感染検査に支援を

の希望により検査を行う場合に、国が一定の費用を助成する制度を設けました。

当該制度の実施にあたっては、市町村は、行政検査に影響を与えない範囲で、検査実施医療機関等を確保して検査を行うこととされ、16市町が事業を実施または

実施を予定しているところです。

県としては、これらの市町の事業が円滑に実施されるよう、連携して国との調整を図つてまいります。

要望 山本議員 引き続き、高い高齢者が一人でも多く実施を受けることができるよう、県においても支援をお願いする。

今後、感染者が増えることが見込まれるため、何が起るかわからない状況下で、最悪を想定して取り組んでほしいことを重ねてお願いする。

新型コロナの流行下でも 成田空港の機能強化必要

山本議員 新型コロナウイルス感染症の影響の長期化が懸念される中であっても、将来を見据えて成田空港の更なる機能強化は進めるべきと思うがどうか。

知事 国、空港会社からは新型コロナウイルス感染症の影響は大きいものの、更なる機能強化については、訪日外国人旅行者拡大への対応や国際競争力強化といった中長期的な観点から必要不可欠なものであり、計画どおり進めていくと聞いています。

山本議員 移住の促進についてうかがう。第2期千葉県地方創生総合戦略では、どのように本県への移住を促進しようとしているのか。

総合企画部長 本県への移住を促進するためには、地域の持つ優れた資源を最大限に生かすことが重要であると考えております。戦略では、東京への近接性や豊かな自然、バランスの取れた産業構造など、本

八街警察署の設置要望

私の住む八街市においては佐倉警察署八街幹部交番、八街駅前交番、吉倉交番、榎戸交番、山田台駅在所、西林駐在所、八街駅南口防犯ボックス、移動交番車による犯罪抑止活動を展開している。お蔭様で刑法犯認知件数は年々減少している。

市民の安心・安全を高め、住みよい街づくりを推進していくためには、更なる警察力の強化が必要不可欠であると考えられます。八街幹部交番の八街警察署への昇格を要望する。

山本議員 成田空港が、我が国の国際線旅客の基幹空港としての役割を今後ともしっかりと果たしていくよう、県としても、しっかりと取り組んでいただくよう要望する。

持続可能な千葉県農業へ

しかし、農業の生産現場は、農家の高齢化や後継者の減少、耕作放棄地の増加など、依然として厳しい状況に直面している。

具体的には、水田の大区画化や園芸用ハウス等の整備のほか、スマート農業技術の導入など、生産力を強化するための事業を実施するとともに、大口需要に対応するための産地間連携などを推進しているところであります。

つて、八街市ほか6市にまたがる3267ヘクタールの地域に位置し、首都圏に近接した農作物の供給基地として、県下でも有数の畑作を主体とした農業地帯で行われている。

より農業経営の安定を図るうとするもので、事業着手以来30年余りの期間を経て、令和2年度の完了を目前に控えている。

では、県管理への移行を進めていかなければならぬ。そこでうかがうが、国営事業で造成された基幹施設について、県管理に向けた準備状況はどうか。

県で管理してきたところあり、北総中央地区にても、今後、維持管理計画を策定し、県で管理を行ふ予定です。

農家に
り添い、
寧な説明
行い県管
に移行出
るよう、
として全
て取り組
ことを要
する。

山本謹眞 農業は言ふ
までもなく、食料の安定供
給に大きな役割を果たして
いるが、その農業が持続可
能なものとなるためには、
所得の向上を図ることが重
要。

画では、農業者の所得向
を図るため、県産農産物の
需要拡大に向けた「販売力
の強化」や需要の変化に対
応できる「力強い産地作り」
などに取り組むこととして
います。

北総

中央用水土地改良事業 30年ぶりに完了間近

対策を講
るよう土
改良区へ
指導・助
等の支援
するなど

「販売力の強化」と 「力強い産地作り」

厳しい時代にあって
本県農業を持続可能
なものにするための
県の取り組みを質問
する山本議員



森林環境譲与税活用し 5市町が倒木被害対策

山本議員 森林環境審議会の対策に取り組んでいく市町村はどのくらいあるのか。

与税を活用して倒木被害対策を行なう市町村は、自然防止のための森林整備着手した5市町となつておられます。

害対策が一層進むよう取り組んでまいります。

要望 山本議員 引き続き、倒木被害対策の推進に向け、市町村へ一層の支援をお願いしたい。

また、都市部での県産木材の利用に加え、山間部市町村との連携強化を図など、森林整備の促進にかけ、県も主体的に対策を立てていただきたい。

トや、維持管理計画の内
について、地元農家の理解
得ていく必要があること
ら、県としても、土地改
区や地元市と連携し、丁
な説明に努めてまいります

害対策が一層進むよう組んでまいります。

の同意取得に着手したところです。

●千葉県や八街市のご意見、ご要望をお聞かせください
山本よしかず 県議 TEL.043(440)7070
事務所 FAX.043(440)7030 〒289-1116 八街市中央20-11